

# 広報おだわら

發行所  
小田原市役所  
小田原市城内3番22号  
編集兼発行人  
平野進  
株式会社文進堂印刷  
全世界配布

小田原市の推計人口	151,923人
7月1日現在	
人 口	151,923人
男  女	75,385人
世 带	76,538人
世 带	35,842世帯増
前 月	246人増
と の 比 較	169人増
	77人増
	43世帯増



## 完成した寿町処理場本館

精密診査を受けたかた	
前年分の所得	
280,000円	
精密診査を受けたかたの扶養義務者	
扶養親族数	前年分の所得
0人	456,000円
1	583,500
2	644,250
3	710,000
4	777,500
5	845,000
6	912,500
(以下1人増すごとに) 67,500円加算	

みなさんのご協力に感謝

総額327万円

## 十勝沖地震被災者の義援金

られた多くのかたがたに対し  
関係者一同深く感謝いたしてお  
ます。なお、寄せられた義援金  
のうち物資については日赤神奈

# お年寄りの健康診査

## ことしは65歳以上のか

お、本市の下水道整備事業は  
計画事業の一環として昭和三  
年度から着手されたもので

事業の計画規模は、その後の計画変更により行政面積一万五百六十ヘクタールのうち、実施排水面積は約九百十九ヘクタール（無勾川以西から早川以東までと北は市立病院から大雄山鉄道五百四十駅付近までの実施対象区域に概来計画の久野、荻窪の一部区域を含む）において、排水人口は十五千人で、雨水と汚水を別々に流す分流方式となっています。

下水管の埋設工事は、市街地を八つの排水区に分けて逐次進められ、昨年度末までは事業認可研究長六万四百三十九点に対して約七・六%に達しました。

この下水管埋設工事の進ちょ

A black and white photograph showing a swan family in a pond. In the foreground, a large swan is facing right, its long neck curved elegantly. To its right, a smaller swan chick is partially submerged in the water. In the background, another swan chick is visible near some reeds or lily pads. The water reflects the surrounding environment.

なお 昭和四十四年一月から  
險料が、いままで月二百円であ  
たのが百五十円に、一百五十  
が三百円になります。

# 8月の納税

処理人口は八万六千人

区域も大幅に拡大

## 下水道 寿町処理場が一部完成

# 小田原海上花火大会

とき 8月15日(木)午後7時(雨天、強風の場合8月17日)  
ところ 御幸の浜

## 夏の催し

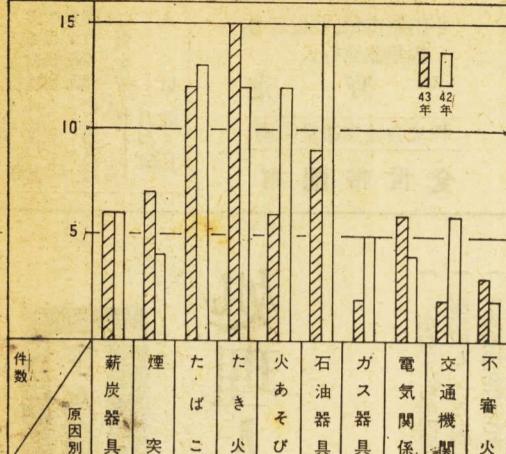
8月10日(土) 民踊大会 午後7時 天守閣広場

協賛 小田原レクリエーション協会 婦人団体

民謡大会 午後6時 城址  
地主：二十一世紀协会

主催 小田原市・小田原商工会議所・小田原市商店街連盟

1月～6月おもな原因状況



# 損害額は昨年の2倍に

## 1月から6月までの火災状況

最近の火災事故は、家庭内、職場等に石油・ガス・殺虫剤・化粧品などの危険物があり、発見が少しだらおくれますと、これが大きな事故となる原因を持つておりますので、特に次のことに注意して被害を少しでも少なくするよう協力願います。

一、家中にある危険物は、その性質を良く知つて整理してください。

二、石油・ガス器具を使つているときは、そのそばを離れない。

三、ガス器具を使い終わつたら元せんまで確実に締める。

四、事故になつたら、早く近所の人々に知らせ、また電話一一〇印は減少

ことしの一月から六月まで火災状況は、火災件数八十一件減少しておりますが、損傷面積は約七十六百万円、建物件で、昨年の九十一件より十一件減りました。これは、本年にはかつたため、損害額も必然的に増加しております。



### 小田原市 1月～6月火災概況

	昭和43年	昭和42年	増減
火災件数	80件	91件	△11件
建物焼損面積	3,786m <sup>2</sup>	2,058m <sup>2</sup>	1,728m <sup>2</sup>
損害額	75,960千円	37,470千円	38,490千円
焼損棟数	55棟	67棟	△12棟
罹災世帯	43世帯	61世帯	△18世帯
罹災人員	187人	244人	△57人
死者	2人	0人	2人
傷者	9人	5人	4人

△印は減少

### 全国 1月～12月火災概況

	昭和42年	昭和41年	増減
火災件数	53,934件	48,057件	8,877件
建物焼損面積	2,507,330m <sup>2</sup>	2,318,555m <sup>2</sup>	188,775m <sup>2</sup>
損害額	52,017,189千円	48,865,228千円	3,151,961千円
焼損棟数	45,842棟	41,103棟	4,739棟
罹災世帯	34,716世帯	33,764世帯	952世帯
死者	1,098人	1,111人	△13人
傷者	9,671人	8,210人	1,461人

△印は減少

九番で消防署に連絡する。

△印は減少

## 火災現場に向かう消防隊員

行政相談委員は、国民から行政に関する相談を受けたり、簡単な事については直接関係行政に通じて解決をばかり、また、申出人を教示しております。複雑な事は行政監察局に連絡して、処理してもらうことになります。

行政相談委員はその土地に長く住み、その地域の事情にも明るく周囲の人々からも信頼があつてしかも行政の民主化に熱意のある民間の有識者で、原則として市町村長の推せんにより、行政管理庁長官が委嘱しています。現在、全国に三千六百五人の委員が配置され行政相談委員はその土地に長く住み、その地域の事情にも明るく周囲の人々からも信頼があつてしかも行政の民主化に熱意のある民間の有識者で、原則として市町村長の推せんにより、行政管理庁長官が委嘱しています。現在、全国に三千六百五人の委員が配置され

ご利用ください

## 火気から遠ざけよう

### スプレーの安全な使いかた

最近は、医薬品・化粧品・殺虫剤から塗料までスプレー式となりスプレー金盛期となつてきました。昔は、そのほとんどが手によつて散布されたり、塗られたりして吹きのよつて散布したり、塗られたりする方法が盛んになつてきました。ところが、これ等の品物はもともと良く燃えるものであり、これをさらによつて燃えますと、爆発的に燃えて、人の命をもうばう

いた。

いましたが、圧力を利用して、霧吹きによつて散布したり、塗られたりする方法が盛んになつてきました。ところが、これ等の品物は

もともと良く燃えるものであり、これをさらによつて燃えますと、爆

発的に燃えて、人の命をもうばうになつております。

一、説明書をよく読み、性質、使用方法を知る。

二、火気には、絶対に近づけない。

三、使用後は、必ずせんふはぶ

たをしておく。  
四、ばらばらに置かないで、整理をしておく。

五、特に空気扇を接する場合は、カソの底に穴を開け、ガスを抜いてから捨てる。

六、平方筋

四平方筋

一区画

四万六千円

六平方筋

一千二百円

一区画

一千八百円

四平方筋

一万七千円

四平方筋

四万七千円

四平方筋

一区画

一千五百円

四平方筋

# 夏休みのくらし

## 毎日を楽しく安全に



七月二十一日

から始まつたこどもたちの楽しい夏休みも、もう

千日あまりが過ぎました。規則正しい学校生活からはなれ

こどもたちはそれぞれの計画で楽しい毎日を送つていて

しょ。

しかし、おとうさんやおかあさんがたとつては、この四十

一日間の長い夏休みは、心配や悩みが多くなるときです。

夏休みも、はじめのうちは、どこにこどもさんも自分の計画

に従つて毎日を割合規則正しく過ぎます。また戸

外での遊びも多くなりますので、思わぬ誘惑や事故などの心配

も増してまいります。

そこで、各学校でも休み前はもちろん、休み中も登校日など

の機会をとらえ、くじ引きの指導を通して、こどもたち

の注意と自覚ある行動を促していくのですが、何といつても

こどもたちの生活の場が家庭中心になりますので、家庭の

責任が大きくなります。

家庭にかえつたこどもたちが、九月に、みんなそろつて元気

で登校できるよう、家庭や地域のかたがたのご協力をお願ひし

て、二、三だけじな点を記してみます。

計画的な生活を

自由になれる時間の多いときこそ

こどもたちひとりひとりに自覺し

生活をさせるほんとうによい機

会なのです。こどもたちが自分で

も増してまいります。

そこで、各学校でも休み前はもちろん、休み中も登校日など

の機会をとらえ、くじ引きの指導を通して、こどもたち

の注意と自覚ある行動を促していくのですが、何といつても

こどもたちの生活の場が家庭中心になりますので、家庭の

責任が大きくなります。

家庭にかえつたこどもたちが、九月に、みんなそろつて元気

で登校できるよう、家庭や地域のかたがたのご協力をお願ひし

て、二、三だけじな点を記してみます。

計画的・実行的・反省的・見直し

この運動は、青少年が次のように

ならないことをしたときに、その

年自信を深めることとともに、明る

い小田原市をつくり、青少年がよ

りよい市民となるよう願うもので

す。

○人のために勇気をもつてつし

た行ない。

○人に親切で、みんなが感心した

行ない。

○○みんなのために行ない。

計画でたのしく、力いっぱいつま

してやつてほしいと思います。

自分の計画で、規則正しく生活

すれば、夏休みも終わる近くな

くなります。そのあと、味

わせてやらないもので、そうす

れば、夏休みも終わるようにな

くなります。そこで、宿題があ

わてるようにならなくて、時

には暖かくなることがあります。

そのために、長時間の宿題

をするよりも、短時間の宿題

をするのがいいのです。

そのあと、お風呂に入ること

もできます。ただし、お風呂

に入ると、体が冷たくなる

ことがあります。そのため、

お風呂に入ると、体温が下

ります。そのため、お風呂

に入ると、体温が下

ります。そのため、お風

